

様式 4

令和 3 年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立倉吉東学校  
校長 福 光 浩

評 価 日	令和 4 年 3 月 2 3 日 (水)	
評 価 ・ 提 言	学校の所見・改善策等	
<p>1. 今年度の自己評価について</p> <p>(1) 重点目標の達成状況</p> <p>■次代の担い手として、次代を生き抜く学力の伸長</p> <p>【基礎学力の定着】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導と評価の一体化について準備が進んだとあるが、具体的にどのような点か。</li> </ul> <p>【ICT活用教育の研究・推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用の評価がBだが、取り組みの内容や達成状況を見ると、評価が厳しいのでは。</li> </ul> <p>【探究学習の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・探究学習の成果として、生徒が、英語を使った発表・研究等により各種の大会で入賞しているが、どのようにしてその研鑽を積ませたのか。</li> </ul> <p>【国際バカロレア（IB）教育認定に向けた準備と研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・IBでの学びを目指す生徒はどのくらいか？また、IBに向けた校舎改修計画の中に化学室の改修があるが、どのような内容で何が目的か。</li> </ul> <p>■定時制教育のさらなる充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安心して学ぶことができる場としての定時制を確立できている。また、進学者に対しても丁寧な指導で進路実現につなげている。評価はAでもよいのでは。</li> </ul>	<p>生徒への還元だけでなく、教員の指導方法の改善につなげていくための、新学習指導要領の三観点の評価方法の大枠を共有できたこと。</p> <p>県内の活用先進校として県外視察や校内研修会により活用を進めることができたが、目標である「表現力を高める」などの使いこなしには至っていないと判断した。</p> <p>担当教員やALTとともに準備を進めた。また、海外の大学にメールを送り、得た英語論文を読んで研究を進めた生徒もあった。</p> <p>IBの生徒枠は20名。希望を元に1年生の夏には面談等を行い、秋に決定する予定。大学レベルの研究では、報告書に安全や環境面を盛り込む必要がある。それに耐えうる実験環境を整備するため。</p> <p>さまざまな指導で生徒の成長を促すことができたという成果から、評価をAとします。</p>	

■業務改善の取り組み

・中学校では職員の委員会で業務削減の検討をするところもある。行事の見直し等を含め、どのように改善をめざすのか。

(2)説明・公表について

2. 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について

3. 取組改善のための提言

・志願者数確保のためには、中学生に高校の魅力をどう伝えるかが重要なので、情報発信に力を入れて欲しい。高校生フォーラムで倉東高の取り組みを見た中学生は良かったと言っている。そのような姿を中学校に紹介しに来て欲しい。たとえば生徒会の生徒で、学校紹介ビデオなどを作成することはできないか。

来年度は6月をめどに行事の精選に取り組み、それを行事予定に反映させたい。また、採点ソフトウェアを導入することで採点業務の省力化も図る予定。

学校目標の概念図、「倉吉東高のかたち」を改訂したものと、本会の意見を元に修正した学校自己評価表をHP掲載する予定。

新型コロナウイルス感染症対策のため予算未執行のものも多いが、県内講師やオンラインでの県外講師による講演・研修を可能な限り実施した。

部活動や教科のレベルでの中高の連携の強化も大切だと考えている。学校HPにパノラマビューの掲載を始めた。また、一部生徒は紹介動画を作っている。